

◆第6学年 学習指導案◆ まとまりのあるせんりつをつくろう ICT を活用した音楽づくり

教材 【きらきら星】

A表現 音楽づくり (B鑑賞)

平成 28 年 4 月 26 日
荒川区立尾久小学校
第 6 学年 32 名
指導者 吉野 修平

1 題材のねらい

まとまりのある音楽をつくる

2 題材について

①児童の実態から

音楽づくりは、3学年の時に「せんりつの問いと答えを感じ取ろう」の題材を通し、くるみ割り人形より行進曲の旋律を、スカーフを使った身体表現で表したり「お話メロディ」をペアで作ったりする活動を行った。また5学年では、リズムパターンの繋げ方や重ね方を工夫してリズムアンサンブルをつくる活動の経験がある。しかし、これまでの音楽づくりの活動は、フレーズ単位の旋律や即興的な音楽づくりだけに留まり、曲全体の構成を見通した音楽づくりに課題がある。

本校では、3年前から一人一台のタブレットパソコンを用いた教育活動を展開している。児童はタブレットパソコンの操作に慣れているが、ボーカロイドに触った経験は少なく、本題材を通してボーカロイドの操作に慣れることも目標の一つとしている。

②題材の意義から

本題材では、これまで歌唱で扱った題材の観賞や、きらきら星の旋律を使った音楽づくりを通して、作曲者が工夫した音楽の仕組みを感じ取ったり、音楽の仕組みを生かしたりして、音を音楽に構成する面白さを味わえるようにした。曲全体のはっきりとした見通しがもてるよう、きらきら星のリズムはそのままに、音の高さを変化させて編曲する活動を行う。その際、曲の構成を「はじめ」「なか」「おわり」とし、それぞれのつながりを工夫してまとまりのある音楽をつくるようにする。これまでの観賞や表現の活動で感じ取った「反復」「問いと答え」「続く感じ」「終わる感じ」などの音楽のしぐみを生かし、音楽の発信者の立場に立った、意図的な音楽づくりを目指したい。また、本題材では、コード伴奏は付けず、コード進行にとらわれない自由な発想を重視する。次の題材で扱う、コード進行を指定した音楽づくりに制限が出すぎないように、まずは、音を変化させることの楽しさやよさを味わわせるようにする。繰り返し試行錯誤し、作った旋律を即座に聴くことができる ICT のメリットを存分に生かした活動が展開できるようにしたい。

(2) 学習指導要領との関連

【A表現：音楽づくり】

ア いろいろな音楽表現を生かし、様々な発想をもって即興的に表現すること。

イ 音を音楽に構成する過程を大切にしながら、音楽の仕組みを生かし、見通しをもって音楽をつくること。

【B鑑賞】

イ 音楽を形づくっている要素のかかわり合いを感じ取り、楽曲の構造を理解して聴くこと。

〔共通事項〕のうち、(ア) 音色、リズム、フレーズ、旋律 (イ) 反復、問いと答え

3 教材について

「きらきら星」フランス民謡

リズムが4分音符、4分休符のみで構成されており、音程変化によるフレーズのまとまりを感じ取るのに適した教材であると考えた。また、曲の構成や音楽を形づくる要素の解釈が多様に行える教材である。本題材では、曲の構成を A・B・A の形式として捉える。きらきら星の構成をまねしながら、自分のつくった旋律を友達と交流したり、ICTを活用したりして、それぞれの場面でのフレーズのつながりを意識して、反復や問いと答えといった音楽の要素を生かした音楽づくりができるようにする。また、ボーカロイドでは、音の高さの上下が容易に行え、すぐに聴くことができる為、旋律の音の高さを視覚的に動かしながらつくることができる。原曲のリズムを変えない条件を与え、曲の構成や、まとまりのある音楽に目を向けた音楽づくりを行っていく。

4 題材の評価規準

ア音楽への関心・意欲態度	イ音楽表現の創意工夫	ウ音楽表現の技能	エ鑑賞の能力
①音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成することに興味・関心をもち、見通しをもって音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。	①反復や問いと答えなどの音楽の仕組みを生かし、音を音楽に構成するための試行錯誤をし、つくる音楽やその方法について自分の考えや願いをもっている。	①反復や問いと答えなどの仕組みを生かし、曲全体の見通しをもって、まとまりのある音楽をつくっている。 ②4分音符と4分休符に気を付けて、ボーカロイドに入力することができる。	①旋律の問いと答えや反復などを聴き取り、楽曲の構造に気付きながら、旋律の特徴を音色ちがいを生かして表している。

5 題材の指導計画と評価計画

4 時間扱い

時	●学習内容 ・ 学習活動 共通事項	◇教師の働きかけ ◆評価規準〈評価方法〉
<第一次のねらい> ・ きらきら星の旋律のよさを感じ取る。 ・ ボーカロイドの操作を知る。		
1	<p>●きらきら星の旋律の特徴を感じ取る。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-bottom: 10px;"> フレーズ 旋律 反復 問いと答え </div> <ul style="list-style-type: none"> ・きらきら星の範唱を聴いたり、歌ったりして曲のイメージについて話し合う。 ・2小節ごとに抽出し、フレーズの終わる感じ・続く感じを感じ取る。 ・曲全体の構成を見通し、反復や問いと答えの仕組みを感じ取る。 ・きらきら星の旋律をリコーダーと鉄琴で演奏する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇すべて4分音符と4分休符で構成されていることに目を向け、曲のイメージとの関係を考えるようにする。 ◇ハンドサインを使い、終わる感じと続く感じを分かりやすくする。 ◇拡大楽譜で曲全体の構成を分かりやすくし、曲の構成を『はじめ なか おわり』に分ける。 ◇『なか』の旋律が、繰り返しや呼びかけの仕掛けになっていることに気付くようにする。 ・『なか』の部分の演奏の仕方を考え、反復や問いと答えの仕組みを音色を変えて表現する。
2	<p>●曲全体の構成を見通し、ボーカロイドを用いてきらきら星の旋律を打ち込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分音符・4部休符の入力の仕方を考え、ボーカロイドにきらきら星の旋律を入力する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆(エ①) 【音色の工夫の観察】 旋律の問いと答えや反復などを聴き取り、楽曲の構造に気付きながら、旋律の特徴を音色ちがいを生かして表している。 ◇ボーカロイドの基本入力画面で、4分音符、4分休符の入力を視覚的に捉えるようにする。 ◇楽譜と照らし合わせながら『はじめなか おわり』の構成を意識して入力させる。 ◆(ウ②) 【作品ファイルの確認】 4分音符と4分休符に気を付けて、ボーカロ

イドに入力することができる。

<第二次のねらい> 音楽のしくみを生かし、まとまりのある音楽をつくる。

3 ●続く感じ、終わる感じの2小節の旋律をつくる。

フレーズ

旋律

・ドドソソララソ・のあとに続く2小節の旋律をつくる。

・つくった旋律をペアで聴き合い、交流する。

◇ドで終わる, それ以外で終わるフレーズの2種類をつくる。ボーカロイドに入力して再生し, 試行錯誤できるようにする。

◇つくったフレーズはワークシートに記しておく。

◇友達のつくった旋律を聴いて, 気に入ったところを見つけたり, 工夫したことを伝え合ったりして感想を述べ合う。

◆(ア①) 【交流の様子 ワークシート】

4 ●きらきら星のリズムや歌詞, 『はじめ なか おわり』の構造や, 反復・問いと答えなどの音楽の仕組みを生かし, まとまりのある音楽をつくる。

フレーズ

旋律

反復

問いと答え

・ボーカロイドを使用し, 『はじめ なか おわり』のつながり方に気を付けて, まとまりのある音楽をつくる。

・つくった音楽をグループで聴き合う。

・自分の作品をもう一度見直して, 最後まで完成させる。

◇音楽づくりの条件として, ①リズムは変えない, ②ドレミファソラシの音階を使う, ③音の高さは演奏しやすい範囲にする, の3つを提示する。

◇つくった音楽は記譜するようにする。

◇まとまりのある音楽をつくるために工夫したことを伝え合うようにする。

◆(イ①) 【ワークシート 発言 発表】

◆(ウ①) 【作品ファイル確認】

6 本時の展開

4 時間目

(1) 本時のねらい

- 音楽の仕組みを生かし、まとまりのある音楽をつくる

(2) 本時の展開

過程	●学習内容 ・ 学習活動	共通事項	◇教師の働きかけ ◆評価規準 【評価方法】
	<p>●きらきら星のリズムや歌詞、『はじめ なか おわり』の構造や、反復・問いと答えなどの音楽の仕組みを生かし、まとまりのある音楽をつくる</p> <p>フレーズ 旋律 反復 問いと答え</p> <p>・きらきら星の旋律の特徴や、音楽の仕組みを振り返る。</p> <p>・めあてを提示する</p>		<p>◇拡大楽譜を用いて見やすくする。</p>
		<p>音楽の仕組みを生かし、まとまりのある音楽をつくろう</p>	
	<p>・ボーカロイドを用い、原曲の音の高さを変化させて旋律をつくる。</p> <p>・グループで中間発表をする。</p> <p>・自分のつくった音楽をもう一度再考し、完成させる。</p>		<p>◇『①リズムは変えない』②『ドレミファソラシ(ハ長調)の音階を使う』『音の高さは演奏がしやすい範囲にする』というきまりを提示する。</p> <p>◇つくった旋律はワークシートに記譜する。</p> <p>◇まとまりのある音楽にするために工夫した点を交流するようにする。</p> <p>◆(イ①) 【ワークシート 発言 発表】</p> <p>◇友達がつくった音楽を聴いて、よいと思った工夫を生かすようにする。</p> <p>◆(ウ①) 【作品ファイル確認】</p>